



RRCS

Ready-mixed & Returned Concrete  
Solution Association

ONSITE WG Technical Information Sheet

# 生コン（試験結果）シェアリングシステム

No.110

荷卸し

受入れ

打込み前

打込み

打込み後

生コンシェア

工場帰着



No. 110 生コン（試験結果）シェアリングシステム

【概要】

本技術は、ある現場で余ったコンクリートを、出荷元の生コン工場に戻す前に、ほかの現場に打ち込み、有効活用する仕組みである。現場間で、コンクリートの仕様や品質管理試験結果の情報を共有する技術と連動し、生コンの共有化を図ることにより、残コンや戻りコンの発生を抑制する。

【内容】

ある区画で余ったコンクリートを、仕様を確認したうえで他の区画に打込む。区画を、工区、現場と置換えることで生コンシェア範囲が広がる。事前に互いの現場位置やコンクリートの仕様を登録し、シェア元における生コン出荷時間や受入れ検査の試験結果、そして残コン数量などの情報が共有された中で、シェア先が決定される。情報一元化プラットフォーム、コンクリートの仕様・現場位置から最適なシェア先を選定するマッチングアプリ、経時変化予測などの要素技術と連動することにより、より円滑な生コンシェアが実現できる。大阪万博工事は、各工事のコンクリートの設計仕様が近似、各現場が夢洲一か所に集約、供用計画期間が短期間という特殊性を有しており、生コンシェアの実現性が高く、大きな効果が期待できる。

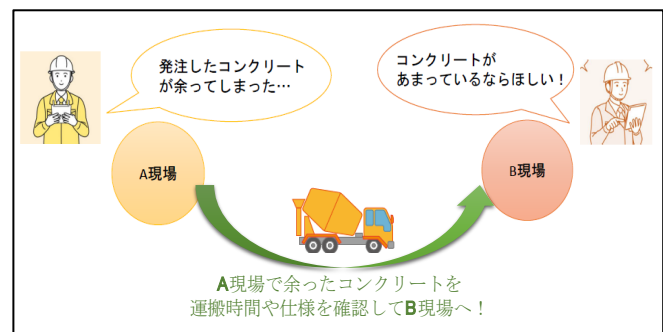


図1 生コンシェア

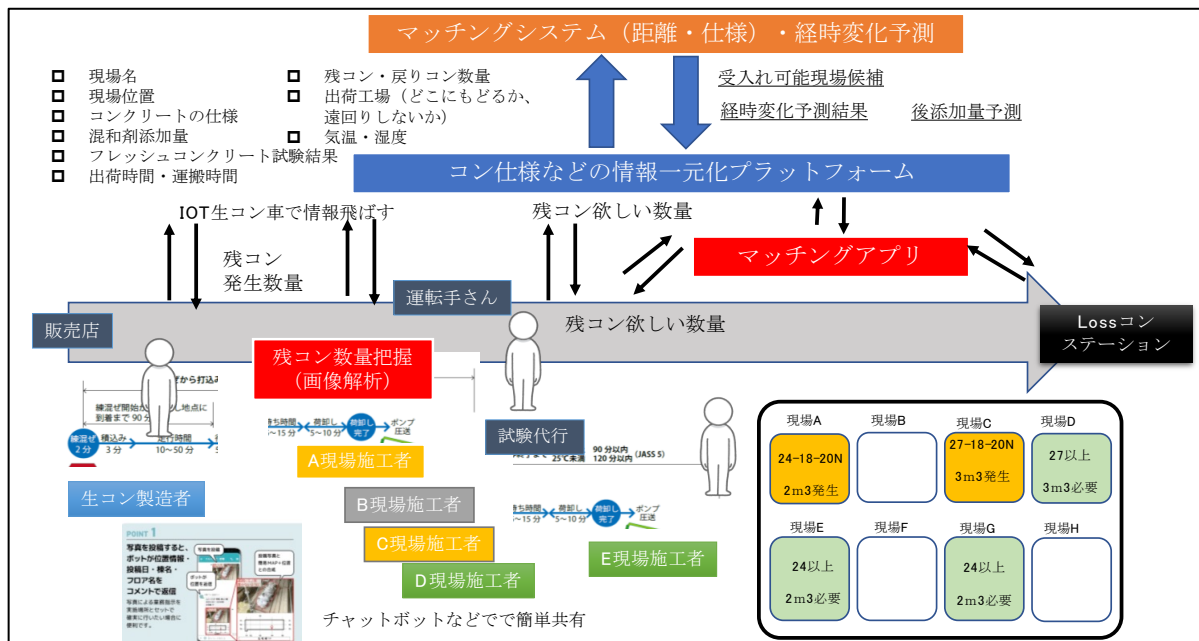


図2 大阪万博における生コン（試験結果）シェアシステムの概念図

【備考】

- ・ 本技術は、RRCS『大阪万博・残コン ZERO プロジェクト』において、検討されたものである。
  - ・ 現行の仕様書などの規定を逸脱する場合があるため、採用には関係者との協議が必要である。
- 文責：大阪万博・残コン ZERO プロジェクト アプリ開発 WG